

おおがわらまち 議会だより

第149号
平成30年11月1日

QRコードから
議会の情報を
ご覧ください



大河原町議会



- 平成29年度決算状況……………②③
- 決算審査特別委員会審議……………④⑤
- 町政への提言……………⑥
- その後どうなったあの提言……………⑰
- 常任委員会所管事務調査……………⑱⑲
- 議案審議(9月会議)……………⑳㉑

桜保育所 運動会

決算規模は前年度比 1.4%減の140億円

一般会計 前年度比 10.4%増の 81億8638万円

財政状況の健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況

(単位:%)

区分	平成29年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.99	20.00
連結実質赤字比率	-	19.99	30.00
実質公債費比率	▲1.0	25.0	35.0
将来負担比率	0.5	350.0	

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の財政規模に対する公債費の割合
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される



一目千本桜ブランド化事業により植栽されたスイセン

9会計決算額

会計名	歳入	(前年度比較)	歳出	(前年度比較)	
一般会計	86億4545万円	11.8%	81億8638万円	10.4%	
後期高齢者医療特別会計	2億6629万円	10.1%	2億6151万円	9.6%	
国民健康保険特別会計	25億3223万円	▲0.5%	23億4093万円	▲1.8%	
介護保険特別会計	13億8008万円	2.4%	12億8932万円	3.9%	
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	5115万円	▲3.4%	4775万円	▲4.5%	
地方卸売市場事業特別会計	470万円	▲4.1%	340万円	▲6.1%	
工業用地造成事業特別会計	2億6686万円	7.5%	2億6686万円	13.4%	
公共下水道事業特別会計	8億2628万円	▲45.5%	7億9882万円	▲46.3%	
水道事業会計(税込)	収益的収支	7億1299万円	1.4%	5億7123万円	7.5%
	資本的収支	5000万円	▲83.8%	2億4186万円	▲61.3%
合計	147億3603万円	▲2.4%	140億806万円	▲1.4%	

※工業用地造成事業特別会計は、事業完了により平成29年度で廃止。

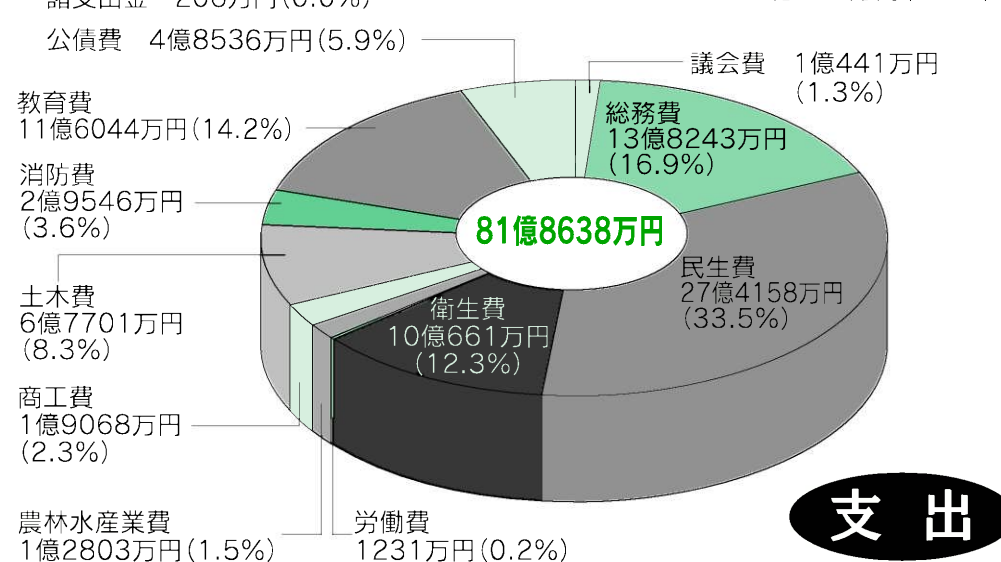
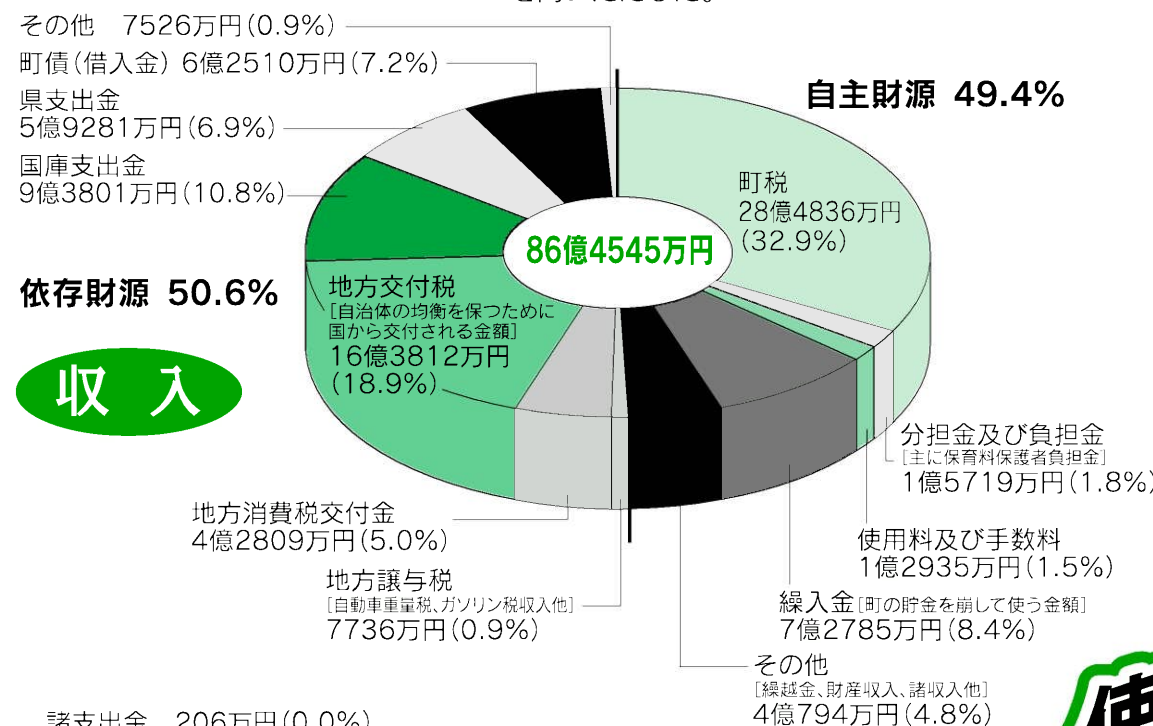
※公共下水道事業及び水道事業会計の前年度比較減は、平成28年度の施設建設工事等増によるもの

一般会計

第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成29年度各種会計決算の認定の他18件の提案を慎重に審査し、すべて認定、可決した。

一般質問では10議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点を問いただした。



町民一人あたり35万円使われました

決算審査特別委員会審議

全会一致で可決

総務課

問 公金横領事件の弁償金の入金がないが、本人と話ができてきているのか。

答 請求書を送っているが、本人とは連絡が取れていない。現住所に向向くなどして本人と会うようにしたい。

問 災害が多発し、消防団が実際に自然災害に対応している。普段の生活で日中町内から離れている人もいることから、訓練や研修に力を入れなくては大丈夫か。

答 入団後、新任研修を消防団で行っている。消防団と協議してみる。

問 今回購入の軽四輪消防ポンプ積載車に、エアコンは付いているのか。また、その他の車両に工



エアコン付きオートマ車

問 学校給食で使用されている地元食材の割合は。今後、もっと地元食材を増やすことは検討されているか。

答 地元食材は9・6%。プロツコリー、キヤベツ、

エアコンをつける考えは。今ご購入車両には付いている。他は車両入替時に対応していく。

生涯学習課

問 金ヶ瀬公民館の施設管理業務委託料が増えた理由は。

答 中央公民館が休館している分、金ヶ瀬公民館の利用頻度が増えたため。

問 スケートパーク場整備計画時、騒音等心配される声があつたがどうか。

答 住民に説明し、職員も現地確認した。白石川右岸河川敷にあつた時より音が分散した。

問 今後、スケートパークの規模等発展する可能性はあるか。

答 著作権保有業者に利用者の要望を伝えながら、

大根、玉ねぎ等。地元食材を増やすことは、今後の検討課題となっている。

推移を見守りたい。



人気上昇中のスケートパーク

税務課

問 今年度の納税組合数が2つ減つて42組合になったが、現在の加入戸数と人数の状況はどうなっているのか。

答 加入戸数が706戸で1750名となつており一番多い団体で99名、少ないところで8名となっている。

問 固定資産税の部門を個人・法人に分類したうえで、個人・法人それぞれの土地、家屋、償却資産を示せば、個人部門と産業部門の経済動向を把握するうえで参考となる重要な資料となる。固定資産税の成果説明書の記載方法を改善してはどうか。

答 工夫してみる。

問 滞納者に短期被保険者証が交付されている。高校生まで医療費無料となつたこともあり、18歳以下については通常の保険証に切り換えていくべきではないか。

答 税の公平性から、滞納者であれば18歳以下の人も短期被保険者証が交付されることになる。

福祉課

問 現在、扶助費では紙おむつの支給事業だけが、県内13市町村で行っている高齢者訪問理美容サービス事業は検討されなかったのか。

答 検討はしていない。介護保険事業なのか一般の高齢者福祉事業なのか精査する。

健康推進課

問 データヘルス計画策定業務委託業者の選定方法は、何社の中から選んだのか。

答 レセプト分析が出来

る業者が前提。これが1社しかないの、随意契約になっている。

子ども家庭課

問 ファミリーサポートセンターの利用状況や、利用者の声はどうか。

答 平成30年3月末で依頼会員数33人、提供会員数14人。平成29年度の援助活動数は13件。利用者からは大変好評である。

商工観光課

問 一目千本桜ブランド化事業(2997万円)の結果、どのような経済

効果があつたか。

答 外国人観光客が昨年の約1500人から、今年約5000人に増加したが、金額的な効果は精査していないので分からない。

問 卸売市場の買請人の減、取扱数量の減が続いている。町は売上に対して使用料をもらっているが、今後の市場の在り方に対し介入する必要はないのか。

答 町は市場売上に対し0・5%の使用料をいただいているだけ。

農政課

問 農業次世代人材投資事業について交付されているが、対象者となっている新規就農の状況は。

答 補助金について交付された人数は1名。元々町内にお住まいの方で水稲を耕作している。今後も次世代人材投資事業補助金について周知し、後継者育成に取り組みたい。



大河原町 ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターとは何の事業ですか。
子どもの預かりや送迎をお願いしたい方、お母さんやお父さんが共に子育てで悩む「子育て支援」の仕組みです。子どもを保護施設や児童クラブへお預けして欲しい、少しの時間お預けしたいので預かってほしいなど、利用の形はいろいろあります。
登録料・年会費・保険料は無料です。会員登録期間中ですので、お問い合わせください。

- どんな利用の仕方があるのですか？
子どもの保育園送迎への送迎
保護者の病院受診時や、兄弟の学校行事時の預かり
保護者のリフレッシュ時の預かり

子育てしやすい町に



わなにかかるイノシシ



機械化ではかどる農作業

総括質疑

万波 孝子

問 住民から、放射能汚染廃棄物焼却中止の声が出ているにもかかわらず、これを無視、国・県の安全性を信じ、強引に焼却を進める姿勢に疑問をもたないのか。地方自治体は何よりも住民の生命と安全を守るためにあるのではないのか。焼却により被ばくりリスクが一番心配されるのは町民である。焼却反対の立場を貫くのが町長本来の姿勢ではないか。

答 国・県の安全性については、過去の実証実験により安全性は十分確保されていると認識している。仙南クリーンセンターにおいても、安全性を確保した上で実施している。ゼロリスク社会は困難であり、リスクの程度を今後も見極めながら、不安を抱く住民には今後丁寧にも説明していく。



いせ 敏 伊勢 敏

問 長総にブランド化戦略は必要

答 戦略等の計画書は作成しない

問 第6次大河原町長期総合計画(長総)に示されている「まちのブランド化による選ばれるまち」は、様々な政策分野におけるブランド化により町をブランド化しようという考えのようであるが、これは「甘い」と言わざるを得ない。

なぜなら、一つの新たな政策の成果を上げるにも長い時間と努力を要するもの、まして、ブランドとして実を結ぶには、相当の時間と努力を要することから、一般的にブランド政策には、長期的かつ戦略的なロードマップの策定が求められる。ブランド化戦略を長総に追加すべきである。

町長 「大河原町ブランド化戦略」等の計画書は作成しない。

長総の人口見通しは甘い、内容修正と時期延期を求める

問 国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計では、大河原町の人口は2017年の23,669人から12年後に12,431人の減少に対し、第6次長総はわずか6,008人の減少としている。

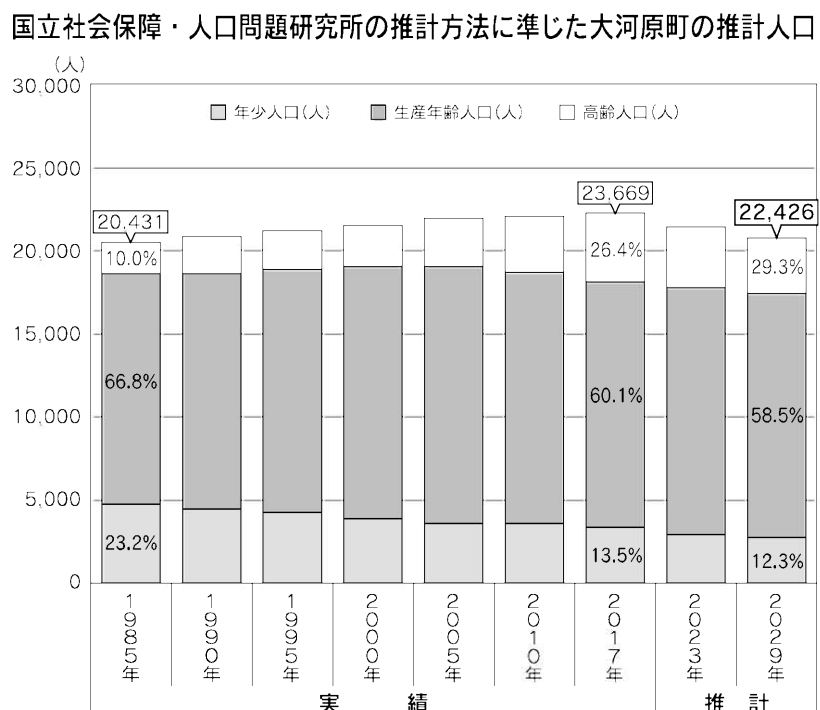
の推計は「甘い」と言わざるを得ない。人口減少の加速化を抑制するため、未来を直視

し、戦略的かつ長期的な重点政策を第6次長総に追加せよ。

また、これらを検討するために要する期間を設け、計画の開始時期を最長1年間程度延期せよ。

町長 そのような検討は行わず、原案通り、2019年4月に開始する。

一般質問



町政への提言Q&A

一般質問

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

- 伊勢 敏** P⑦
 - 長総にブランド化戦略は必要
 - 長総の人口見通しは甘い、内容修正と時期延期を求める
- 丸山 勝利** P⑧
 - 町長と町議選同日で経費削減幅は
- 万波 孝子** P⑨
 - 小・中学校にエアコン設置を
 - ブロック塀の安全対策を急げ
 - 国民年金保険料未納者へ免除申請の更なる周知を
- 岡崎 隆** P⑩
 - 基本計画策定の意義・目的は
- 堀江 一男** P⑪
 - 障がい者の職員採用をすべき
 - 異常気象の中での、学校へのエアコン設置を(掲載なし)
- 大沼 忠弘** P⑫
 - 家庭の躰が子に及ぼす影響は
 - ふるさと名物応援宣言を
 - 梅の振興を
- 須藤 慎** P⑬
 - 小中学校へエアコンの設置を
- 柘 和也** P⑭
 - 普通教室にエアコン設置を
 - ハラスメント対策、障がい者雇用率は
- 佐久間克明** P⑮
 - 大会出場で町グッズを
 - 町の政策に町民が関心を持つために
- 高橋 豊** P⑯
 - ふるさと投資の活用を
 - 農業サポーター制度の活用を





丸山 勝利



一般質問

別議決による議会の解散
しかないと思われるが、
町民の理解が必要不可欠
となる。

町長 平成28年10月の町
長選挙では約800万
円、平成29年4月の町議
選挙では約1030万円、
同日に行った場合約13
80万円になる。

町長 平成28年10月の町
長選挙では約800万
円、平成29年4月の町議
選挙では約1030万円、
同日に行った場合約13
80万円になる。

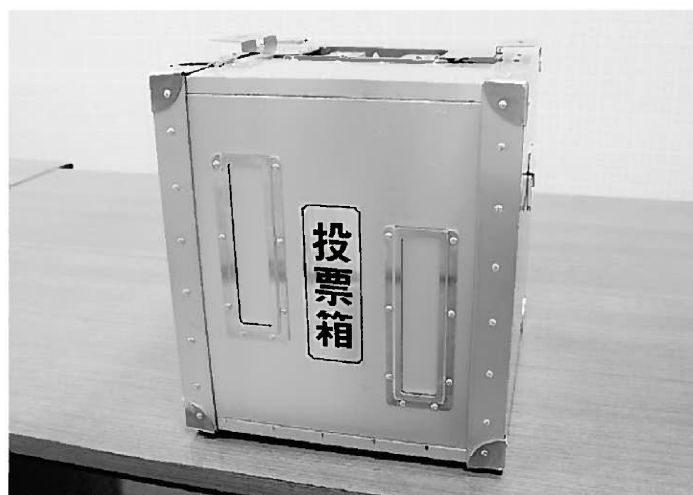
町長 平成28年10月の町
長選挙では約800万
円、平成29年4月の町議
選挙では約1030万円、
同日に行った場合約13
80万円になる。

くらいあったか。

町長 選挙録を確認した
ところ、無効票になった
票数のうち「候補者でな
い者の氏名を記載した者」
は町長選挙で8名、町議
会議員補欠選挙で35名だ
が、候補者を逆に記載し
た票数は、開票時の調査
がないので不明である。

町長 投票所1箇所に係る
経費はいくらか。削減し
た予算で投票所を増やせ
ないか。

町長 投票所1箇所に係
る経費は約19万円になる。
新たな投票所の指定等は
現在のところ難しいが、
有権者の負担軽減と投票
率向上に向けた見直しは
必要と考える。



ブロック塀の安全対策を急げ

大阪北部地震でブロッ
ク塀が倒壊し、女子児童
が下敷きになり亡くなる
という痛ましい事故を受
け、文科省は全国の中小
高校等のブロック塀の緊
急点検を実施した。

町長 本町の危険箇所は、
なかった。

町長 なかった。

町長 民間施設も含め確
認したが、桜保育所は建
物裏側のブロック塀に控
え壁が設置されていなか
った。定期的に職員が巡

国民年金保険料未納者へ
免除申請の更なる周知を

町長 免除申請ができる対
象であるのに、手続きを
しないていると将来無年
金になる可能性がある。
受給資格期間は25年から
10年になった。町民に周

町長 健康推進課長 広報等も
つとわりやすく工夫し、
より一層丁寧に説明して
いく。

町長 健康推進課長 広報等も
つとわりやすく工夫し、
より一層丁寧に説明して
いく。



万波 孝子



一般質問

小・中学校にエアコン設置を

町長 前向きに対応する

町長 各校のエアコン設置
状況は。全教室にエア
コン設置をした場合の試算
はしているのか。

町長 各校のエアコン設置
状況は。全教室にエア
コン設置をした場合の試算
はしているのか。

町長 各校のエアコン設置
状況は。全教室にエア
コン設置をした場合の試算
はしているのか。

町長 各校のエアコン設置
状況は。全教室にエア
コン設置をした場合の試算
はしているのか。

町長 各校のエアコン設置
状況は。全教室にエア
コン設置をした場合の試算
はしているのか。



扇風機1台ではとてもとても

町長 国の動向などを見
ながら前向きに対応する。

町長 国の動向などを見
ながら前向きに対応する。

町長 国の動向などを見
ながら前向きに対応する。



おかざき たかし
岡崎 隆

問 基本計画策定の意義・目的は

答 町の将来像を描くために必要

問 総合計画は昭和46年の第1次基本計画から来年度までの第5次基本計画の間に5度策定されたが、しっかりと検証されてきたか。住民への周知はしてきたのか。

町長 本格的な策定となつた平成12年の第4次計画から「振り返り」の資料を作成しているが、積極的な町民への周知はこれまで行っていない。

問 町のこの先10年を描く大切な基本計画が、これまでの社会情勢の変化、気候変動、住民ニーズの多様化等を踏まえたものとなっていない。職

員の意識、進行管理、検証体制と住民への周知は非常に脆弱であったと考えるがどうか。

町長 アンケート調査やパブリックコメントなどで広く住民の意見を集めていく。

問 自治法が改正され策定義務がなくても、来年度からの11年間の第6次基本計画を作るのであれば、住民自治基本条例の策定をし、その中で基本計画の策定の意義、目的を明確にし、進行管理、検証体制を万全にする取り組みと住民への周知の義務を謳うべきである。条例に議決義務があるため、今回もちやっさり基本計画の議案を提出し、うっかり議会が可決し、結果しっかりと計画が進まない。住民に対して誠

一般質問

実ではないと考えるがどうか。

町長 自治基本条例ではなく個別の条例で対応していく。

問 ただ基本条例を作るだけでは、職員の思い付きや場当たりのなげまき事業の抑止力にはならない。計画自体を悪いとは言わない。これまで指

摘した脆弱な部分を補い、新たな手法で成熟期から衰退期を迎える今後11年間の計画を今一度議論すべきではないか。何よりも町民が望んでいることと考えるがどうか。

町長 これまでの策定方法は変えない。



基本計画に掲載のなかった改修事業(中央公民館)

がい者募集を行ったが、応募者がなかった。

問 上級職ではなく、初級、単労職又は嘱託職員としての採用を考えるべきと思うがどうか。

総務課長 今後、採用について前向きに検討する。

報告している。

問 町内企業の状況はどのように把握しているのか。

町長 「ハローワーク大河原」管内における雇用率達成企業の割合は、対象企業48社中30社となっている。

問 障がい者雇用問題に今後どのように進めていくのか。

町長 先進事例を参考に、改めて募集の方法や採用時の配慮等を検討し、法定雇用率に基づいた採用に努めていく。

問 「障がい者雇用は、障がい者だからこそできる仕事がある。今後高齢化社会が進む日本社会で

問 障がい者の職員採用をすべき

答 前向きに検討する

問 役場職員の障がい者雇用率は何%で、雇用ガイドラインを満たしているのか。

町長 1・63%であり、法定雇用障がい者数達成のために必要な人数が1名生じている。また、雇用ガイドラインに基づき

障がい者雇用促進法では一定割合以上の雇用を義務付けているが、国や自治体は雇用の推進を掲げながら、一方では雇用率の水増しという不正を行ってきたっており、連日、世間からの批判を浴びている。



ほりえ かずお
堀江 一男

一般質問



役場に障がい者の視点を



す とう 須藤 慎

問 小中学校へエアコンの設置を

答 順調に流れて31年度予算編成

問 町内小・中学校全ての普通教室、特別教室にエアコンを設置すべき。

答 町長 かなえば6月までにという思いでいる。そうならなくても、できるだけ早く設置に努力していく。

問 今年度中に調査費を補正予算で計上すべき。

答 町長 12月議会で調査費を計上させていただく。

問 平成30年度全国学力調査の結果は。

答 教育長 表のとおり。

問 平成27年6月議会で質問し、今回それがかな

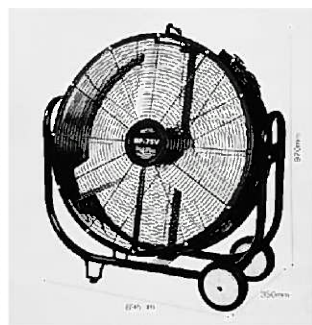
一般質問

問 町内には危険ブロック塀が4箇所とのことですが、次年度以降も中学生の東北大会・全国大会の交通費、宿泊費、大会参加費は全額町から支給されるというのでよいか。

答 教育長 町の旅費規定に基づき、必要な内規を設けて今後も運用していきたい。



現在教室で使用されている扇風機



9月補正で購入される体育館等の大型扇風機

問 文部科学省より「部活動指導員」の配置方針が示されたが、現状と今後は。

答 教育長 本町ではまだ取り組んでいない。今後、中学校と協議しながら導

問 あるが、現状と今後は。

答 教育長 南小学区3箇所、金ヶ瀬小学区1箇所。今後も引き続き県と町合同で戸別訪問を実施し、危険ブロック塀の改修・除去の推進に努めていく。

問 平成25年度6月議会で質問したが、大河原中学校ソフトボール部グラウンド南側、西側フェンスをポールが超えないように改修すべき。

答 教育長 部活動と社会体育で使用される施設であることから、早急に確認し、新たな見積もりを取り必要であれば将来計画のひとつの事業として位置づけたい。



おお ぬま ただ ひろ 大沼 忠弘

問 家庭の躰が子に及ぼす影響は

答 大変重要と認識



躰につながる親子の絆

問 保護者による家庭での教育(躰)が子に及ぼす影響は。

答 教育長 鉛筆や箸の持ち方、落ち着いて椅子に座るなど、本来家庭で身に付けていたことがないまま就学する児童が増えていく。こうした指導も学校や教員の負担となっている。

問 保護者に対する学習機会の提供や家庭教育に関する支援は。

答 教育長 親に気付いてほしいことや、身に付けてほしいことを課題とし、各種行っている。各校PTAで講演会の実施などを行っている。学年ごとに「家庭学習の手引」を提示し、家庭環境を整えることや家庭学習の仕方について啓発。

問 家庭教育と本町の高学力との因果関係は。

一般質問

問 本町でもふるさと名物応援宣言をしては。

答 町長 検討する余地はある。

問 本町でもふるさと名物応援宣言をしては。

答 町長 地域資源に関わる事業者と方向性を整え、つながりを深めることから進めて行きたい。

問 一目千本桜を柴田町と連携して宣言出来ないか。

答 町長 梅まつりの会場変更が望ましいのでは。

問 梅の加工業者や販路確保の支援が必要では。

答 町長 生産者及び関係団体と協議していく。

問 上高い結果。学習塾通いの状況も決して高い割合ではないことから、家庭における協力や、保護者から子供に対する声かけが行われていることが、学力を支えている背景と判断。

ふるさと名物応援宣言を

※ふるさと名物応援宣言とは 都道府県が指定した地域資源を特定し、宣言することで補助金等の優遇措置が受けられるもの

梅の振興を

問 梅まつりの会場変更が望ましいのでは。

答 町長 現在の会場周辺駐車場確保で対応したい。



さくま かつあき 佐久間克明

問 大会出場で町グッズを

答 何が良いか含めて検討

問 申請後すぐ交付される自治体もあるが、年1回の交付にしている理由

教育長 スポーツ全国大会出場者に資金援助を行っており、オリンピック等国際大会も対象とする。基準額は種類や年齢により5千円から20万円。

問 スポーツ振興基金の活用状況を伺う。

仙台市内の高校に通う本町生徒から「柔道の大会に出場した際、村田町の生徒は援助金が出たが大河原町は出ないのか」という声があった。役場に問い合わせ解決したが、改善点も見えた。

一般質問

生涯学習課長 理解できるので、何がよいのか含めて検討したい。

問 大会出場が決まった時点で、町章入りのタオル等を渡したら、本人の町への愛着が増すことと、町外に対する本町のPRになると考えるがどうか。

教育長 毎年3月に「全国スポーツ大会出場者報告会」を開催し、出席した本人や家族に渡している。把握は難しいが申請される方がいると想定されるため、広報回数を増やしたり、ポスター掲示、体育協会や学校との連携により把握に努める。

は。また、申請忘れはないのか。



オレンジカラーで町オリジナルグッズ

町の政策に町民が 関心を持つために

問 町民が政策を知る機会はそのくらいの頻度であるか。また、意見を述べる機会はあるか。

町長 広報おおがわらや町ホームページにて、政策方針や主要計画の概要など公表し、必要に応じて住民懇談会や説明会を開

催し、意見もいただいている。計画策定における委員会は、できるだけ委員を公募し関心のある方から積極的な意見を得る機会を設けている。一定程度の評価はしているが、参加者確保に苦勞していることもあり、今後工夫し充実させたい。

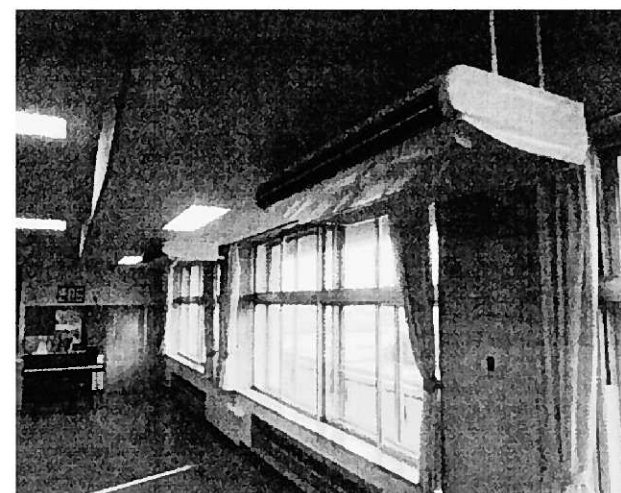
問 普通教室にエアコン設置を

答 12月議会に調査費を上程する



ます かずひろ 柁 和也

今年も猛暑が続いており、気象庁データを見ると近隣で30℃を超えた日は7月で20日間、8月で14日間、35℃を超えた日は2ヶ月で7日間あり、



普通教室にも早急にエアコンを

町でも注意喚起のメールが3回ほどあった。政府はこの猛暑を災害ととらえるという報道まであった。町もそうであるが、全国の半数の小中学校では、エアコンがない教室で子どもと先生が授業をしている。宮城県のエアコン設置率は4・1%で全国47都道府県中41位であった。

一般質問

問 普通教室にエアコン設置を早急にすべきと考えるがどうか。

教育長 子供たちが学習しやすい環境を整備することが必要。町の財政状況も考え最低限、全児童生徒が退避できる環境を目指す。

問 暑さ対策で取り組んでいること、今後取り組もうと考えていることは何か。

教育長 扇風機を設置し、熱中症指数が確認できる計器で対処している。今後大型循環送風機、冷風扇を利用したいと考える。

町長 12月議会に補正予算提出を考えている。

ハラスメント対策、 障がい者雇用率は

問 服務規程の中に平成11年施行セクシャル・ハラスメント規定はあるが、その他のハラスメントに関する要綱はなく、見直しが必要では。

町長 実効性の確保等の問題点を分析し要綱等の見直しについて検討する。

問 障がい者の法定雇用

率に改正され町等は2・5%、さらに2020年までに2・6%となるが達成見込みは。

町長 現在の雇用率は1・63%。達成には1名の雇用が必要である。募集方法や採用時の配慮を検討し、障がい者の雇用促進に努める。

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

大中フェンスの改修を



改修でのびのびプレーを

金小、南小にも見守り隊を



地域で子どもたちを守る

提言

大中ソフトボールグラウンドは、度々ボールがフェンスを越えていく。車や歩行者に当たれば大変危険である。フェンスの改修が必要。

議員の提言
(一般質問)

平成25年6月
平成30年9月

平成30年
10月現在

追跡結果

ボールがフェンスを超えないための措置について検討しているとの答弁があったが、未だに未解決。

提言

大河原小学校には見守り隊が組織されているが、金ヶ瀬小学校大河原南小学校は組織化されていない。子どもたちの下校時における安全対策、防犯対策として必要である。

議員の提言
(一般質問)

平成26年12月
平成30年6月

平成30年
10月現在

追跡結果

平成30年10月3日「大河原町ながら見守り隊」が組織化され活動を開始した。

問 ふるさと投資の活用を

答 調査研究を進める



たか はし 高橋
ゆたか 豊



農業の未来のためにブランド化を

少子高齢化による人口減少とそれに伴う経済・産業活動の縮小よって地方公共団体の税収は減少する。その一方で高齢化により社会保障費の増加が見込まれており、地方

の財政は厳しさを増していくことが予想されている。当町でも大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定。地域資源の活用やブランド化など地方創生等の地域活性化は重要な施策であると考えられる。その施策を具現化する資金調達的手法として、「ふるさと投資」(行政のクラウドファンディング)が注目されている。

一般質問

問 「ふるさと投資」について積極的に取り組む必要があると考える。町の考え方を問う。

町長 「ふるさと投資」の仕組みは大変魅力的ではあるが、事業の進め方等不明な点もある。地元金融機関等と連携し、先進事例等を参考にしながら調査研究を進めていく。

農業サポーター制度の活用を

問 5月の所管事務調査で梅生産の現状と課題を調査した際、高齢化や後継者不足によって草刈りや剪定、消毒などの管理作業、収穫作業が困難な状況にあり、管理放棄されたほ場もあった。他の自治体では農業サポーター制度を実施して農業支援の活動を行い、人手不足解消や人材育成に取り組む成果を上げている。農業サポーター制度の当町の考え方を問う。また、将来に向けて担い手不足を解消するためには、人

※1 ふるさと投資とは 地域資源の活用いやブランド化など、地方創生等の地域活性化に資する取り組みを支えるさまざまな事業に対する小口投資。
※2 クラウドファンディングとは 個人や企業、その他の機関が、インターネットを介して、寄附、購入、投資などの形態で個人から少額の資金を調達する仕組みである。

町長 農業サポーターの必要性、受入体制構築の可否等について生産者及び生産者団体等と検討していく。また、人材育成や販路確保、ブランド化による安定的な農業経営については、その必要性を認識しているところであり、生産者と協議を進めていく。

委員会調査 町への提言



視察研修

議会運営委員会

- 日時 平成30年6月21日～22日
- 視察地 岩手県矢巾町・宮城県美里町
- 出席議員 委員長 岡崎 隆 委員 柁 和也 委員 高橋 芳男 委員 大沼 忠弘 委員 佐久間克明 副議長 山崎 剛
- 調査事項 タブレットを利用した議会運営

調査結果

- 矢巾町 平成29年度6月定例会から導入
- 議会改革の中で意見として挙げられていた。議案書ほか関係資料が膨大であること、郵送による通知、電話による連絡等を早く、安く出

来るようにするため等が要因。

- 膨大な資料を持ち運びすることはなく、何時でも何処でもタブレットがあれば、過去の資料まで確認できる。
- 紙ベースとタブレット導入を比較、年間議会費約65万円の削減効果。

美里町

- 予算審査は分科会制を採っている。常任委員会に分かれて審査。現地調査を実施し、委員会としての活動のウエイトが大きいのが特徴。毎年研究テーマを定め、12月定例会を経て執行部に政策提言を行っている。



岩手県矢巾町での様子

総務産業常任委員会

- 日時 平成30年8月21日～23日
- 視察地 和歌山県みなべ町・有田川町・奈良県三郷町
- 出席議員 副委員長 高橋 豊 委員 堀江 一男 委員 丸山 勝利 委員 岡崎 隆 委員 大沼 忠弘 委員 伊勢 敏 議長 佐藤 貴久
- 調査事項 ①みなべ町 梅の産業振興 有田川町 まち・ひと・しごと創生総合戦略について 三郷町 サテライトオフィス35

調査結果

- みなべ町 平成27年6月議員発議により「梅で健康のまちなべ町宣言」「梅干しでおにぎり条例」を制定。
- 県医科大と共同で梅の言い伝えを科学的、医



和歌山県有田川町での様子

学的に研究している。

- 「みなべ・田辺の梅システム」は平成27年12月15日、世界農業遺産に認定された。

有田川町

- 地方創生のスタートは40歳以下の役場職員。民間・若者が中心となり、「有田川という未来AGW」を立ち上げ、日本のポータルランド（全米で最も住みたい街、魅力がある都市）を目指し事業を展開。

三郷町

- 駅前駐車場3階部分を改装し、サテライトオフィスとして貸し出している。創業支援でブースも貸し出している。

所管事務調査

文教厚生常任委員会

- 福祉作業所さくら 平成18年度から社会福祉協議会による指定管理を受けて運営されている。
- 定員15名。開所は日曜日～金曜日まで。(柳葉匠三全、齊藤製作所から仕事を依頼されている。
- 課題 利用者はデマンドタクシーで通所しているが、運行時間が30分間隔から1時間に変更されたため運営に支障が出ている。

上谷児童館放課後児童クラブの現状は

- 築39年を迎え老朽化が進んでいる。
- 4月から児童クラブが1つ増え、待機児童はゼロに。
- 課題 上谷住宅入口に看板の設置や、町営住宅の解体作業が始まることから、近隣児童を対象にした不審者多発を心配し安

心、安全面の危機管理体制強化が求められている。

議員派遣

仙南・巨理地方町村議会常任委員長研修会

- 日時 平成30年7月5日～6日(2日間)
- 派遣場所 蔵王町
- 派遣議員 山崎 剛・岡崎 隆 須藤 慎・佐久間克明
- 派遣内容 7月5日 ●講演演題「住民に開かれた議会の取り組みについて」 ●事例発表「議員定数削減と議員報酬増額への取り組みについて」 七ヶ宿町議会 村田町議会
- 7月6日 ●議員報酬・費用弁償等の実態について ●常任委員会等の視察研修と政務活動費の活用状況について ●広報・広聴活動への取り組み状況と今後のあり方について

町村議会議員講座

- 日時 平成30年7月24日
- 派遣場所 宮城県自治会館
- 派遣議員 山崎 剛・万波 孝子 柁 和也・丸山 勝利 須藤 慎・佐久間克明 高橋 豊
- 派遣内容 農山林漁村の地域経済活性化と自治体の役割について

船迫生涯学習センター

- 派遣議員 秋山 昇・柁 和也 佐久間克明
- 派遣内容 話し合いを活性化させるコツを体験しよう

町村議会議員研修会

- 日時 平成30年8月30日
- 派遣場所 中新田バツホール
- 派遣議員 佐藤 貴久・山崎 剛 秋山 昇・万波 孝子 庄司 充・堀江 一男 丸山 勝利・岡崎 隆 大沼 忠弘・須藤 慎 佐久間克明・伊勢 敏 高橋 豊
- 派遣内容 ●日本政治の行方と人口減少社会に向き合うために 読売新聞特別編集委員 橋本 五郎氏 ●南三陸町の復興とこれからの歩み 南三陸町長 佐藤 仁氏

柴田町議会議員研修会

- 日時 平成30年8月2日
- 派遣場所

原案可決

議案11件 認定9件
報告6件 同意1件

第6次長期総合計画策定 討論の末 可決

▼第6次長期総合計画
2019～2030年の11年間の総合計画（基本構想、基本計画）を討論の末に、賛成多数で可決した。

【大切な視点】

- ①人口減少の抑制
- ②超高齢化社会への対応
- ③町のブランド化
- ④一目千本校の保護と活用
- ⑤広域連携と官民連携

【基本理念】

- ①住民自治・住民主権
- ②命と安全を守る
- ③人口減少への挑戦

反対討論 伊勢 敏
勤労世代に魅力があり、先進的で革新的、従来以上に戦略的な方策及び町のブランド化に至る戦略が示されず、人口減少の緩和は困難。スロウガンはあるがビジョンと呼べるものがない。放射能汚染廃棄物焼却問題を看過、長総の理念「命を守る」に矛盾。よって、計画の修正及び開始時期の延期を求め、本議案に反対する。

賛成討論 高橋 豊
今回提案された第6次大河原町長期総合計画は、

反対討論 岡崎 隆
基本計画自体に反対ではない。執行部、職員から意義・目的が伝わってこない。作ることが目的となつては本末転倒。策定の手法、進行管理、検証体制、住民への周知方法が脆弱である。人口減少を迎える危機的な今後

賛成討論 大沼 忠弘
第6次長総は残された課題を明示、継続した課題解決と時代の潮流に即した対応を示している。前長総からの連続性を保ちながら、不確定な未来に向けてだからこそ堅固な行政方針を指し示している。作成経過も様々な形で町民の意向を踏まえる機会を設定、審議会に諮る回数を重ね、熟慮されてきた。総花的な列挙と指摘もあるが、今後示されるより具体的に予算配分の伴った毎年度更新される実施計画で、より具体性のある政策が示されるものと理解する。

▼一般会計補正予算 財産管理費
本町が取得した旧仙台地方検察庁大河原支部の改修工事等及び庁舎補修工事を行うため、2056万円の増額補正を行った。

今後は、残額2620万円を取り崩し、旧仙台検察庁大河原支部施設改修費（1913万円）、公施設等整備基金に積立（407万円）、スポーツ振興基金に積立（300万円）に活用する。



改修を行う旧検察庁大河原支部

保育所運営費
新たな民間の保育所整備を支援するため、国庫補助金と合わせて2437万円の増額補正を行った。



新民間保育所予定地(新南)

中央公民館費
大ホール等の空調設備が故障したため改修工事費として1520万円、大ホール舞台吊物に落下の危険性があることが判明したため改修工事として162万円の増額補正を行った。

学校給食センター整備事業
新給食センター建設に対する財源の一部に町債（借入金）5620万円を充当することとした。

学校施設整備交付金
国庫補助金が見込めなくなったため、7490万円の減額補正を行った。

その他の主な補正予算

- 歳入 ふるさとふれあい21基金繰入金 2620万円
- 歳出 新開五瀬線道路改良工事 750万円
- 危険ブロック塀等除去事業補助金 300万円
- スポーツ振興基金積立金 300万円

参考
地方債（借入金）が大幅増
今議会における補正後の平成30年度末の地方債（町の借入金）の総額は、平成29年度年度末から6億9487万円（11・7%）増加の66億1255万円

移行することに触れていないのは問題である。町長は仙南広域で実施しているの町計画には関係ないというが、納得できない。さらに、長崎大学の高村教授の「安全か危険かの議論から脱却すべき」という話を持ち出して来たことも問題である。町民の中止を求める不安の声に寄り添っていない。認められない。

▼ふるさとふれあい21(F21)基金条例の廃止
F21は、昭和63年に全国各市町村に1億円が交付された「ふるさと創生資金」を原資に、平成元年3月議会において基金条例を可決。基金の果実で、白石川水環境活性化のための可能性調査計画作成、白石川周辺の整備に関する「ウォータープラン21基本計画の策定」、護岸緑化プラント設置、また、えぞこホールに係る「文化振興財団」に8000万円の出捐な



工事が進む新開五瀬線

▼教育委員会委員の任命
一孟森広志氏
大河原町教育委員会委員の任命（再任）について満場一致で同意された。

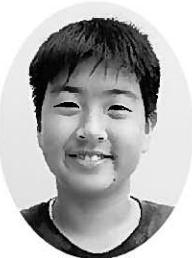
《平成30年第3回定例会(9月会議)議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧														
			高橋豊	伊勢敏	佐久間克明	須藤慎	大沼忠弘	高橋芳男	岡崎隆	丸山勝利	堀江一男	榎和也	庄司充	万波孝子	秋山昇	山崎剛	佐藤貴久
第6次大河原町長期総合計画基本構想及び基本計画を定めることについて	9/12	原案可決	○	×	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	×	○	○	議
ふるさとふれあい21 (FF21) 基金条例の廃止について	9/12	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町一般会計補正予算(第2号)	9/12	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9/13	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9/13	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第1号)	9/13	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第1号)	9/13	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	9/13	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町水道事業会計補正予算(第1号)	9/13	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町一般会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/19	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度大河原町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	9/19	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
教育委員会委員の任命について	9/19	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
平成30年度大河原町一般会計補正予算(第3号)	9/19	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成30年度大河原町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	9/19	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

12月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
 招集日 12月5日(水)・再開日 12月11日(火)
 手続きは必要ありません。詳細は議会事務局まで ☎53-2800

こんな町に住みたいな



大河原南小学校 小畑 佑介さん

ぼくが住みたい町は、笑顔があふれる町です。笑顔があふれる町というのは、みんなが仲良く暮らせる町だとぼくは考えます。

例えば、重い荷物を持つているお年寄りを、笑顔で手伝ったり、地域の方々に笑顔であいさつしたり、ささいなことでもみんなが笑顔になることはたくさんあると思います。このようなことを、一人ひとりが意識して続けていくことが大切なのではないでしょうか。

笑顔があふれる大河原町にするために、ぼくも笑顔を意識して生活していきたいです。



大河原南小学校 木村 優姫さん

私は、危険なところがない町に住みたいと思っています。

例えば、公園などに段差が多いと小さな子どもたちが遊んでいるときに転んでしまうかもしれません。骨折したり、頭の打ちどころが悪いと重大な事故につながったりしてしまいます。そういうことがないように、できるだけ町の中から段差をなくし、壊れたものは早く修理してほしいと思っています。

私は、大河原町が小さい子どもたちや妊婦さん、高齢者の方が安心して暮らせるような町になってほしいと思っています。

街かどワンショット



10月14日(日)白石川左岸河川敷におきまして「平成30年度大河原町消防団消防演習」が開催されました。常日頃、火災予防をはじめ、火災発生時にはいち早く現場に駆けつけ、危険な消火活動を行っていただいております。また、大雨等の自然災害の際にも様々な活動を行い、町民の安心・安全につながっています。

東日本大震災の被災地においても消防団の活動があつてこそ多くの方々の命が救われたことは皆様もご承知のことだと思います。

現在、大河原町の消防団員は274名、今年度初めて学生も入団していただきました。いづこで大きな災害が起きるかわからない昨今、消防団の活動はさらに重要性を増し、必要とされまます。今後とも町民の安心・安全のためよろしくお願いいたします。

消防団に興味のある方は「大河原町役場総務課」までご連絡ください。

TEL 53-2111

今回の表紙は

今回は桜保育所の運動会にお伺いさせていただきました。心配されていた雨も降らず、子どもたち、親御さん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな元気いっぱい素晴らしい笑顔でした。(須藤 慎)

議会報告会を開催します

- 11月8日(木) 午後6時～《保料集会所・上川原集会所・台部集会所》
 - 11月9日(金) 午後6時～《幸中島町集会所・南桜集会所・金ヶ瀬東集会所》
- みなさんの声をお聞かせください。

がんばっている子どもたち

祝 全国中学校体育大会

8月に広島県を会場に行われた全国中学校体育大会へ出場を果たしました。

女子ソフトテニス個人

大河原中学校

齊藤 双葉さん(3年)
古川 愛梨奈さん(2年)



女子柔道70kg超級

金ヶ瀬中学校

佐藤 ^{ある} 步瑠さん(2年)



今回から交通費・宿泊費・大会参加費の全額が町から支給されるようになりました。

編集後記

10月に入り中央公民館が「大河原町にぎわい交流施設」としてオープン。10月23日には大河原町学校給食センター整備工事の安全祈願祭が開催されました。今後も公共施設は老朽化により改修、建て替えが必要になってきます。その計画や重要な案件の際に意見を頂く機会が「パブリックコメント」です。専門的でハードルが高いのか意見が少なくとのこと。直接意見を言える機会なので、ぜひお気軽にご意見をお願いします。議会広報としてもわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。
(高橋 豊)

編集発行責任者 佐藤 貴久
議長 佐藤 貴久
議会広報常任委員 佐久間 克明
委員長 須藤 孝子
副委員長 万波 忠弘
委員 大沼 敏
伊勢 敏
高橋 豊